

日本物理学会 2023 年春季大会  
領域 7 インフォーマルミーティング議事録  
(2023 年 4 月 4 日・第 2 版)

日時：2023 年 3 月 25 日 16:40-18:30

場所：オンライン開催

主催：領域 7 (運営委員)

+++++

議題目次

1. 学生優秀発表賞 表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表、副代表の紹介および次期領域運営委員の紹介
4. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】
5. メーリングリスト運用について
6. 概要集提出率について
7. 関連会議・シンポジウムの紹介
8. 次回大会について
9. 学生優秀発表賞の実施方法について【審議事項】
10. 今後の領域 7 の運営について【審議事項】

+++++

1. 学生優秀発表賞 表彰式

領域代表・副代表・運営委員・領域 7 会員から 11 名に審査を依頼し、以下の観点で審査を行った。

- ・研究内容 (研究の意義・新規制、妥当性)
- ・プレゼンテーション (スライドの構成、伝わりやすさ)

その結果、下記 2 名 (審査対象 13 名) を受賞者として選出した。

- ・伊藤 雅聡さん (東大物性研) : 23aG1-10

「大気安定な  $d/\pi$  共役系アンバイポーラ半導体：置換基鎖長による電子構造の高次元化」

- ・原 武史 さん (名大院工) : 25aG1-9

「超精密放射光 X 線回折測定による共有結合状態の価電子密度分布観測」

表彰式がおこなわれ、上記 2 名から受賞の挨拶があった。

## 2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

領域代表：

長谷川 達生先生（東大院工）【任期： 2022 年 4 月 ～ 2023 年 3 月】

領域副代表：

佐々木 孝彦 先生（東北大金研）【任期： 2022 年 4 月 ～ 2023 年 3 月】

領域運営委員：

須田 理行（京大院工） 【任期 2022 年 4 月 ～ 2023 年 3 月】

榮永 茉利（阪大基極セ）【任期 2022 年 4 月 ～ 2023 年 3 月】

福岡 脩平（北大院理） 【任期 2022 年 10 月 ～ 2023 年 9 月】

松浦 弘泰（東大院理） 【任期 2022 年 10 月 ～ 2023 年 9 月】

## 3. 次期領域代表、副代表の紹介および次期領域運営委員の紹介

領域代表：

佐々木 孝彦先生（東北大金研）【任期： 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月】

領域副代表：

久保園 芳博先生（岡山大）【任期： 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月】

次期領域運営委員：

福岡 脩平（北大院理）【任期 2022 年 10 月 ～ 2023 年 9 月】

松浦 弘泰（東大院理）【任期 2022 年 10 月 ～ 2023 年 9 月】

佐藤 拓朗（分子研） 【任期 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月】

丸山 実那（筑波大数理）【任期 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月】

## 4. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】

現運営委員により、次々期運営委員として以下の方々を選出し、承認された。

次々期領域運営委員：

今城 周作（東大物性研）【任期 2023 年 10 月 ～ 2024 年 9 月】

坂田 雅文（岐阜大工） 【任期 2023 年 10 月 ～ 2024 年 9 月】

## 5. メーリングリスト運用について

以下の内容を周知した。

- ・現在の状況について

ML アドレス: bunyu4@r7.div.jps.or.jp

ML のアドレス数上限： 1000

現在の登録アドレス数： 909（2023年3月24日現在）

- ・卒業などで使われなくなったアドレスについて削除依頼を運営委員まで連絡
- ・送信エラー対策として受信設定やメールボックス容量のチェック

連絡事項:

登録アドレス上限の1000件に近くなってきたため、使われなくなったメールアドレスについて今一度確認をお願いします。

研究室 ML によって登録されているアドレスからは `bunyu4@r7.div.jps.or.jp`, `committee_r7@jps.or.jp` への投稿はできません。

(投稿の必要がある場合には、ML に直接登録してあるメールアドレスをお持ちの方にお問い合わせするか、運営委員のメールアドレスに直接、ご連絡をお願いします)

#### 6. 概要集提出率について

2023年春季大会における領域7の概要集提出率は  $86/91=94.5\%$ （全領域中7位）であったことを報告した。

未提出内訳はシンポジウム2件（両件ともに”終わりに”）、一般講演3件（内2件は”講演取り消し”）であった。

シンポジウムにおける「はじめに」「終わりに」についても予稿提出が必要であることを周知した。

#### 7. 関連会議・シンポジウムの紹介

事前連絡なし。

なにかあればメーリングリストにメールを流すことを周知した。

#### 8. 次回大会について

以下の事項を確認した。

- ・次回の第78回年次大会は東北大学で2023年9月16日(土)～19日(火)に開催される(物件は川内キャンパス)。

秋の行楽シーズンの連休中の開催に加え、同地域で他の学会も開催されるため、宿泊施設の確保が困難になると思われることを周知した。

また、今後は3月に春季大会をオンラインで行い、9月に年次大会を現地開催することを周知した。

## 9. 学生優秀発表賞の実施方法について【審議事項】

2022年秋季大会のIM、IM後にいただいた意見を踏まえ、本大会ではオンラインの口頭発表セッションにて学生優秀発表賞審査を実施した旨、運営委員から報告があった。

### 2022年秋季大会のIM、IM後に集まった意見

- ・オンライン学会でのポスター発表では審査が困難（複数）
- ・オンライン学会では口頭発表で審査すべき
- ・ポスター発表は学生にとって色々な先生と深く議論ができる貴重な発表の場であり、継続すべき。
- ・優秀発表賞を口頭のみにしてしまうと、ポスター発表の過疎化が懸念される。特に、ポスター発表では審査員を増やすべき。

今後の口頭/ポスター発表の学生優秀発表賞審査について、運営委員により以下の事項について諮り、承認された。

- ・今後は現地開催とオンライン開催が交互になる。
- ・現地開催の場合はポスター発表を審査対象とし、オンライン開催の場合は口頭発表を審査対象とする。
- ・学生優秀発表賞受賞者には、ポスター発表の際にはIMにて簡単な自己紹介・研究成果紹介の場を設ける。口頭発表の際には行わない。
- ・審査員の人数は増やす（特に対面ポスター発表）。運営委員外にも審査を依頼する。

### 本大会での口頭発表における学生優秀発表賞審査に関する意見

- ・学生オンラインでの口頭審査は審査員への負担も少なくても良い。

### 今後のポスター発表における学生優秀発表賞審査に関する意見

- ・ポスターは現地の方が良い。審査員を増やすことにより聴衆が増え、発表へのやりがいができそうである。

## 10. 今後の領域7の運営について【審議事項】

領域活性化のために行いたい方策や企画について、意見を募った。以下の事項について諮り、承認された。

### 意見の詳細

- ・本大会のバンド計算に関するシンポジウムでは、170人以上の聴衆があった。物理化学との連携のシンポジウムは毎回開催したい。
- ・運営委員の引継ぎ後すぐ（約一カ月）にシンポジウム提案の締切があるため、運営委員

の負担が大きくなる。シンポジウムのご提案の協力をお願いしたい。特に、海外の発表者を招待する場合には調整には時間を要するため、年次大会（秋季大会）くらいから用意し、オンラインの春季大会に向けて準備したほうがよいかもしれない。

## 11. その他

### 意見の詳細

発表件数の減少については、今後の企画などが重要である。